SHIMIN NETWORK ネット

市民参加と情報公開 ・ 暮らしはそのまま政治です

うののぶこ 県議会レポート

2026年11月 vol.11

発行：茨城県議会議員 うののぶこ（市民ネットワーク）
事務所：つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
Tel&Fax:029-859-0264





2026/11/13　茨城県議会

文教警察委員会で質問しました！

自転車交通事故　死者増加の原因と対策は

9月末までの自転車事故の死者数が、昨年の4人に対し今年は14人と急増。そこで、この原因と対策について質問した。

死者14人中12人は高齢者。（死傷者全体は562人で高校生が117人）。死亡の内訳は、車との出会頭3人、右折時3人、追突3人、単独で転倒3人、その他2人。ヘルメット着用状況は14人中非着用が12人で、着用していたら9人は助かった可能性があった。最近ヘルメット着用していない自転車が増えている。着用義務を再度周知するよう要望した。

死亡事故を防ぐため、生活道路（中央線のない道路）30km制限が9月から始まったが、ゾーン30の取り組みも引き続き可能と確認した。

みどりの駅前に交番を要望

つくば市内のTX4駅のうち、みどりの駅だけ駅前に交番がない。つくば市は新興住宅地での自動車の盗難が特に多く、昨今は住宅侵入窃盗も多発している。みどりの駅前に交番設置を求める声が地域の方々から何度も出ているため、6月の委員会に続いて、再度要望した。みどりの駅前にはマンションが建設中で、さらに人口が増える。また、谷田部地区を歩いていると、市民から交番の場所を尋ねられることもあった。やはり交番は誰にも分かりやすい駅前にあるべきではないか。しかし谷田部交番が2022年4月に移転開所したばかりであり、近隣での新設は難しい。そこで、万博記念公園駅前のように駐在所でもよいので、早期の設置を要望した。

「地域猫」施策、警察でも認識共有を

地域ののら猫が増えすぎないよう、捕まえて避妊手術し、餌をやって見守る「地域猫」。茨城県では動物愛護施策の一つとして取り組んでいる。しかし、この事業を知らない人が、「のらねこに餌をやっている」と警察に通報し、地域のボランティアが警察官から、「餌をやらないように」と注意される事案が発生。そこで、地域猫事業について警察官にも周知するよう求めた。



つくばエリアの県立高校不足対策は

①来春の県立高校募集定員が発表され、中学生卒業者数が減っている地域では学級数減となった。一方、人口が増えており、市民団体から強い要望も出ている竹園高校の学級増は含まれていなかった。そこで、「つくばエリアは5年後までに1学級増」という高等学校審議会の答申の実現について質問した。

今回の学級減は審議会答申とは別で、答申を踏まえた高校改革プランは今年度末に完成すると答弁。そこで地域の団体から要望の強い竹園高校の1～2学級増について再度要望した。

②みどりの駅前の駐輪場が足りない？

みどりの駅前駐輪場の定期利用が一杯で、つくばサイエンス高校に通学する生徒が定期契約できないとの声が届いた。そこで、定期駐輪場の増設について、県からTXやつくば市に要望するよう求めた。



増設が望まれるみどりの駅前駐輪場

電子黒板にタブレットで学力はつくのか？

先日、某高校の授業を見学する機会があった。どのクラスも電子黒板を使っていたが、黒板に比べて字が小さくて見えにくい。また、板書に比べて画面が早く変わるので、情報量は多いが、生徒がじっくり考える時間が足りないようだった。電子黒板の近くの4人くらいしか授業についていってないように見え、すべての生徒の理解定着には電子黒板は逆効果ではないかと危惧される。高価な機械が導入されると、現場は活用を求められがちだが、子どもたちの学びのために、電子黒板の使い方をよく考えてほしい、と要望した。

県民の命を守る医療に関する調査特別委員会に委員として参加。医療系人材の育成、がん検診受診率向上、県立3病院の統合のあり方等を議論した。

SHIMIN NETWORK ネット

うののぶこ 県議会レポート

2026年11月 vol.11



9/18~10/21決算特別委員会で質問しました!

上野花室線の早期着手で渋滞解消を

Q: 中根金田台地区の接続道路である県施工の上野花室線、市施工の妻木金田線が未着手で、周辺の渋滞は深刻。苦情が多く寄せられている。この事業の進捗は?

A: 上野花室線は中根金田台地区の骨格となる南北の交通軸。北大通りまでの妻木金田線とともに1999年に都市計画決定された。上野花室線は全体3.3kmのうち、2.6kmは整備済み、南側の700mが未完成。つくば市内の交通渋滞を緩和するための重要な路線と認識している。県では両路線の一体的整備が重要と考えており、つくば市において妻木金田線の整備に向けた地元調整を実施していただいている。

意見: 市施工の妻木金田線は妻木地区の集落の真ん中を横切り、道路幅も広く、たくさんの方が立ち退きになる。生活道路が分断され通学路の問題もある。地元の受け入れは困難な状況。建物の移転が少ない上野花室線の方を先に着手し、早く渋滞緩和してほしい、との声が多く届いている。検討を要望した。



開通が待たれる上野花室線

「茨城に愛着を持つ県民の割合」が下がった原因、なぜこの指標を掲げるのか?

Q: 総合計画の指標「茨城に愛着を持つ県民の割合」が2020年72.1%に対し、2025年は70.7%と低下した。2014年85.1%、2017年83.3%と比べてさらに低下している。この原因は?

A: 年代別では30代以下の愛着度が低い。その理由は「買い物や通勤通学が不便」「観光スポットが少ない」「茨城県のことをよく知らない」。地域別では県北県央に比べて県西県南鹿行が相対的に低く、東京に近いと低い傾向。

Q: 愛着度を総合計画の指標にしているねらいは何か?

A: 県というのは行政だけがやるものではなく、県民と一緒に作り上げていくもの。県民が主体にならなければ、県民一人一人が幸せな県はできない。そのためにまず、その県を良くしようというベースとしての愛着が必要と考える。

意見: そのためには県が何をやっているか、やろうとしているか、話し合いの内容も含めて公開することが大事では。

不登校支援—校内フリースクールへの補助拡充を!

Q: 校内フリースクール設置促進事業36校となっているが、国の校内フリースクール補助は、国1/3県1/3市町村1/3で3年間と聞いた。4年目から県の補助はどうなるのか?

A: 国の要件が新規設置から3年間なので、それに合わせて県も3年間。3年の間に市町村で自走していただく。

意見: 子どもは入れ替わり、不登校は増えている。3年で自走して市町村が全部持つのは無理。国に継続を要望し、県としても考えてほしい。



八潮市道路陥没事故を受けた下水管の緊急調査後の対策は?

Q: 1年以内に対策が必要な緊急度1の箇所の進捗は?

A: 緊急度1が2.1km、管径最大2.6m。工事を行うには水位を低下させる必要があり、ポンプを止めて水位を下げるか、難しい箇所はバイパス整備を行う。目途が立ったところから設計、着手している。完了時期は明示できないが、定期点検で安全を確保している。

原子力災害避難計画の検証委員会、いつ公開になるのか?

Q: 避難計画の検証委員会で行われている検証はどこまで進んだか?現在非公開だが、いつになったら公開になるのか?

A: 委員会を6回開催し、5つの検証項目のうち3つの項目について議論が開始されている。次回は最初の検証項目である住民への情報伝達について報告書案を示して検討する。まだ議論を行っており、全体の取りまとめに向けた議論は来年度となる見通し。会議の公開については、現在、検証すべき課題を抽出したうえで、委員や関係市町村から意見をいただきながら方針や対策を整理している準備段階。今後、各項目を整理し、国への要請を行うなど県の成案を取りまとめた段階で、公開の仕方も含めて検討したい。

意見: 成案ができた後の公開では遅い。公開すると委員が忌憚のない意見を言えないというが、非公開で議論された結果を県民が信頼できるのか。議論の段階から公開を。

決算委員会—こんなことも質問しました!

- 県庁内のパワハラ防止対策
- 道路の除草の時期、回数、発注方法、物価高騰の影響
- 農地の集約に向けた地域計画策定の状況
- 有機農業農地面積の目標と現状、推進状況
- 性暴力被害者支援、市町村の相談窓口の状況
- 市町村の外国人日本語教室設置に県の支援を要望
- 水素アンモニアによるカーボンニュートラル事業への集中を見直し、住宅や事業所への太陽光、蓄電池設置補助拡充を要望
- 新鹿島サッカースタジアムの設計にユニバーサルデザインを取り入れるため、会議体に当事者団体の参画を要望